

2019年3月10～12日 四日市東日本大震災支援の会 第65回派遣

宮城県東松島市 3.11 鎮魂イベント参加報告

2019年3月25日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

われわれ支援の会は、2011年5月より、宮城県東松島市を継続的に支援してきた。2011年はガレキ撤去・泥かきをしたが、その後、仮設住宅でのサロン活動などの生活支援、災害公営住宅での復興支援活動を行ってきた。震災から8年目となる3.11のイベントに招待され、支援の会として初めて鎮魂の日に東北を訪れた。

参加者7名：四日市大学学生3、教員1、四日市看護医療大学学生3

費用負担学生スタッフ6,000円、ドライバー6,000円

<スケジュール概要>

★3月10日(日)

06:30 近鉄富田駅出発

16:00 東松島市到着⇒元気の湯⇒

★3月11日(月)

09:00～矢本第2中学で防災ワークショップに参加(全国から高校生・大学生が参加)

13:00～東松島市大曲浜で鎮魂イベントの準備手伝い

14:30～青いこいのぼりプロジェクトによる太鼓演奏鑑賞

16:00～撤収手伝い⇒元気の湯

18:00～懇親会

★3月12日(火)

06:00 出発⇒富岡製糸場見学⇒夜に四日市帰着

